

2021 年度一橋大学法科大学院入学者選抜試験

小論文

解答上の注意

1. 問題文は 13 頁、解答用紙は 1 枚（表・裏）、下書用紙は 1 枚です。
2. 解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 解答は横書きにしてください。
4. 解答用紙は、受験番号を記入する面が表になります。問 1 を表に、問 2 を裏に解答してください。解答用紙は、白紙である場合も含め、すべて提出してください。
5. 解答用紙の追加、交換はしません。
6. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
7. 問題の内容についての質問には、応じません。
8. 試験終了後、問題文と下書用紙は、持ち帰ってください。

問題

〔問題文〕を読んで、問1、問2に答えなさい。

問1 下線部「現在の争点は、『公共空間では分煙するか、全面禁煙にするか』に移ってきた」とあるが、全面禁煙の主張を支える根拠はいかなるものか、本文中において筆者が行っている議論をもとに、説明しなさい。(句読点も1字と数え、800字以内とする。)

問2 喫煙の禁止に関する筆者の議論を踏まえたうえで、たばこ、アルコールその他の薬物のような依存症を引き起こすもの以外の任意の具体例を1つ挙げて、自分や他人の安全を守るために、政府はどこまで個人の自由ないしライフスタイルに介入することができるか、自身の考えを述べなさい。(句読点も1字と数え、1000字以内とする。)

〔問題文〕

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【〔問題文〕は児玉聡「他者危害原則と喫煙の自由」(『実践・倫理学——現代の問題を考えるために』〔勁草書房、2020年、初出は2012年〕)からの抜粋である(P121~P146)。原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。】